

ごあいさつ

まちを歩くと、どこか懐かしい景観を目にして心が癒されたり、新たな景観に刺激を受けたりと、私たちが住む小松のまちは実に多彩な表情をみせてくれます。美しい景観を備えたまちは、人々の心に快適さや豊かさをもたらし、地域に対する愛着を育んでいくものです。

そんな中で、守るべき景観、創出すべき景観を住民・事業者・行政の官民協働で築き上げ、しっかりとした足取りで景観まちづくりを推進することが地域にとって重要と考えます。平成16年6月に景観法が制定されました。その中で「良好な景観は国民共通の資産として整備・保全が図られなければならない」とあり、景観価値を法律で規定したことは大きな意義があると感じております。

この「こまつまちなみ景観賞」は、本市における都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として平成11年度に制定され、今年で6回目を迎えました。この顕彰により「美しいこまつ」の景観づくり」がさらに推進され、「ひと・まち・みどりが輝くこまつ」の実現に寄与するものと確信しており、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

こまつまちなみ景観賞
実行委員会会長
小松市長 西村 徹



趣旨

「こまつまちなみ景観賞」はまちづくりの取り組みとして、さらに都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として、小松の自然、風土に調和し優れた都市景観づくりに貢献している建築物などを選び、それに携わった人々を顕彰するものです。

審査講評

鉄道高架事業や小松駅東・西区画整理事業が完了。周辺整備計画も最終段階まで進捗し、小松駅周辺の現代的な街並景観も姿を現しつつあります。

今年度で第6回目を迎えた「こまつまちなみ景観賞」には、78点に上る応募がありました。書類審査で16点を選び、現地審査を経て、最終的に4点を入賞作品としました。

「こまつ芸術劇場うらら」にも見られるように、小松の伝統的なものを意識しつつ、現代的な建築や街並として表現した作品を目にするようになってきたことも、近年の特徴の一つといえます。また、これまで伝統的町家や近代様式建築の単体としての保存修景は見られましたが、中心市街地の一部において歴史的街並景観を保存修景しつつまちづくりを図っていくためのまちづくり協定も締結されております。これらの取り組みは、現代性と共に、伝統と奥深さのある都市・小松を築いていく上で、大変重要なことであります。

今後年輪を重ね、歴史的なものと現代的なものが共存同居する快適で魅力に溢れた小松のまちなみ景観が築かれていくことを、一層期待しています。



こまつまちなみ景観賞
選考委員長
森 俊偉

賞



表彰銘板

実行委員会では、こまつ市の優れたまちなみ景観に対して、広く市民に周知するため、受賞された施主の方々に、九谷窯元工業協同組合作製の「九谷焼の銘板」を贈呈しています。



石川県こまつ芸術劇場うらら

土居原町710番地

施主 石川県知事 谷本 正憲 小松市長 西村 徹
設計 川崎清十環境・建築研究所
施工 鹿島・加賀工建・篠岡特定建設工事共同企業体

現代的な建築表現と材料を使用しつつ、現代性と伝統が同居した建築としての表情を生み出しており、同時に、小松駅西口の市民公園との一体感を保ちつつ、端正で品位のある建築として駅周辺の現代的街並景観の形成に寄与している。



石野邸

浜田町ホ112番地

施主 石野 一弥
設計 株式会社 浦建築研究所
施工 松浦建設株式会社

落ち着いた色合いを持つ外観、高さを抑えた屋根形状、及びゆとりのある庭空間が、威圧感のないおらかな街並景観を生み出している。また表通り沿いに低く延びる塀と、適切に配置された植栽がゆとりのある街路景観を演出している。



湖蔵屋 三湖酒販

今江町7丁目680番地

施主 中山 栄
設計 有限会社 設計室T-tank
施工 エムエヌ木材株式会社

日本酒の販売を主とする商業施設。黒く色づけされた外壁と白壁、及びデザインされた和風看板などによって、現代的表情の中にも伝統的な雰囲気を持った建築となっており、周辺街区の家並景観ともうまく同調している。



小松日の出合同庁舎

日の出町1丁目120番地

施主(発注者) 国土交通省北陸地方整備局
設計 株式会社 佐藤総合計画
施工 青木あすなる建設株式会社

新しい街区を形成しつつある小松駅東側地区において、建物周囲に市民に開かれた開放的な広場空間を設け、かつ屋外駐車場を柔らかに囲い込む植栽の施された芝生の緑の丘を築くなど、現代的な街並景観形成に対する積極的な配慮がなされている。